

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、午後にFOMC声明文の公表を控えていたこともあり、方向感の出ない時間帯が続いたが、予想よりもタカ派（金融引き締めを志向）な内容の声明文が伝わると、ドル買いが加速。公表直前に3.87台前半で推移していたレアル相場は、3.93台半ばまでドル高レアル安が進行した。大方の市場予想通り本会合での利上げは見送られ、利上げ開始の条件として「労働市場の改善」が指摘された点は従来通りであるものの、(1)これまでの声明文には利上げ時期を示唆する文言は含まれていなかったが、「次回会合で政策金利引き上げの妥当性を検証する際には（雇用最大化とインフレ安定の達成状況を評価する）」としており、次回12月の会合で利上げをするかどうかの判断を行うと明言、(2)「海外景気や金融環境の最近の変化は経済活動を幾分抑制する可能性があり、短期的にはインフレに対する下押し圧力となる」との文言を削除、の2点はマーケットにとってややサプライズな変更であり、後退していた年内利上げ観測が再浮上するには十分なメッセージであると考えられる。

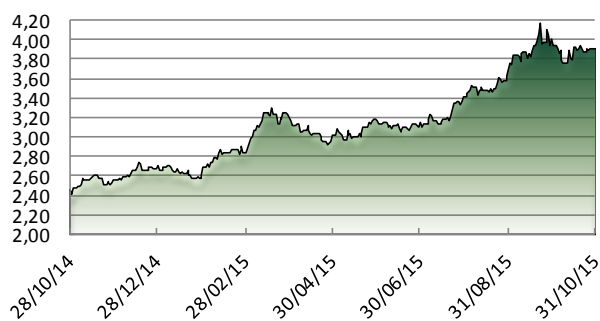
格付会社フィッチは、28日にブラジル政府が今年の財政赤字が過去最大になるとの見通しを公表したことを受けて、同国の財政収支悪化に懸念を表明。今後も景気悪化と財政悪化が続けば、「BBB-」となっている同国格付けを、「再度引き下げる可能性がある」との見解を示した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	10月27日	10月28日	前日比	9月28日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8886	3,9061	+0,0175	4,1096	-0,2035
	対円	JPY	30,98	30,99	+0,01	29,18	+1,81
	対ユーロ	BRL	4,2933	4,2660	-0,0273	4,6198	-0,3538
円	対ドル	JPY	120,46	121,09	+0,6300	119,92	+1,1700
	対ユーロ	JPY	133,09	132,27	-0,82	134,84	-2,57
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	47.043	46.741	-302	43.957	+2.784
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	445,0	446,7	+1,7	533,3	-86,6
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,68	15,79	+0,11	16,35	-0,56
DI Future Jan17（金利先物）		%	15,22	15,38	+0,16	16,15	-0,77
3 Months US Dollar Libor		%	0,324	0,324	+0,000	0,327	-0,003
CRB Index（国際商品指数）		Index	191,3	195,1	+3,8	192,8	+2,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

